

岸田軍拡に警告

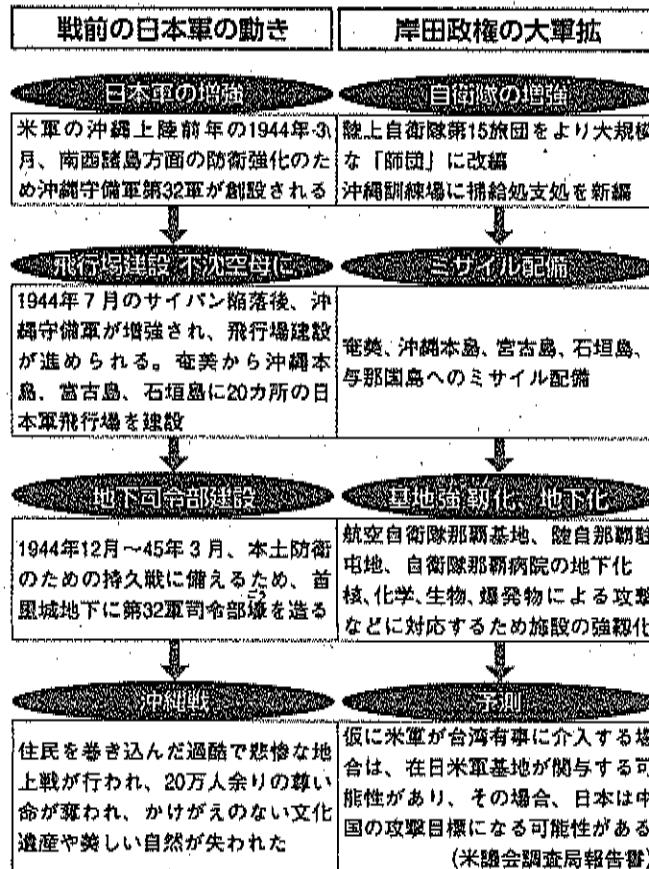


「沖縄を再び戦場にしないよう日本政府に対し対話と外交による平和構築の積極的な取組を求める意見書」を可決する沖縄県議会=3月30日

岸田文雄政権が安保の文書で軍事力強化に対する出力強化を実現する一方、沖縄県議会は「日本政府に対する外交による平和構築の取り組みを求める意見書」を可決(3月30日)しました。また、沖縄県は地域外交を実施して、玉城守一知事が訪中を検討。先の大戦で住民を巻き込んだ悲惨な地上戦を経験した沖縄は、「いかに沖縄を保護していくか」が対話を通じてはならない」と対話を重視する所見を示す議論が広がっています。

岸田文雄政権が安保の文書で軍事力強化に対する出力強化を実現する一方、沖縄県議会は「日本政府に対する外交による平和構築の取り組みを求める意見書」を可決(3月30日)しました。また、沖縄県は地域外交を実施して、玉城守一知事が訪中を検討。先の大戦で住民を巻き込んだ悲惨な地上戦を経験した沖縄は、「いかに沖縄を保護していくか」が対話を通じてはならない」と対話を重視する所見を示す議論が広がっています。

対話による平和 沖縄希求



図示の如く、戦前の日本軍の動きと岸田政権の大軍拡は、対立する「自衛隊」がある。中国の「チャイムル山脈」は、日本が台湾を攻撃する場合、それが米国の戦争に参加させられる「羅子納島地帯」は、米議会調査局報告書によると、中国の「自衛隊」は、日本と中国が本格的に戦争をする可能性がある。そのため、その場合、日本は、中国の攻撃目標になる可能性がある」とあります。

地域外交室設置

図示の如く、戦前の日本軍の動きと岸田政権の大軍拡は、対立する「自衛隊」がある。中国の「チャイムル山脈」は、日本が台湾を攻撃する場合、それが米国の戦争に参加させられる「羅子納島地帯」は、米議会調査局報告書によると、中国の「自衛隊」は、日本と中国が本格的に戦争をする可能性がある。そのため、その場合、日本は、中国の攻撃目標になる可能性がある」とあります。

図示の如く、戦前の日本軍の動きと岸田政権の大軍拡は、対立する「自衛隊」がある。中国の「チャイムル山脈」は、日本が台湾を攻撃する場合、それが米国の戦争に参加させられる「羅子納島地帯」は、米議会調査局報告書によると、中国の「自衛隊」は、日本と中国が本格的に戦争をする可能性がある。そのため、その場合、日本は、中国の攻撃目標になる可能性がある」とあります。

図示の如く、戦前の日本軍の動きと岸田政権の大軍拡は、対立する「自衛隊」がある。中国の「チャイムル山脈」は、日本が台湾を攻撃する場合、それが米国の戦争に参加させられる「羅子納島地帯」は、米議会調査局報告書によると、中国の「自衛隊」は、日本と中国が本格的に戦争をする可能性がある。そのため、その場合、日本は、中国の攻撃目標になる可能性がある」とあります。



沖縄県知事 玉城 守一

知事訪中も検討

玉城守一知事は、中国を訪問するにも慎重にしていました。しかし、7月に予定された日本國慶祝委員会の訪中回に同行するが、緊急且つ中止するが検討しているといいます。

玉城守一知事は訪中に関する「中国を訪問するにあたっては、これまでにさまざまな基準を設けていた」と述べています。それについて、地域の緊密化や信頼構築の構築に貢献していきたい。それが沖縄県としての役割であり、アジアの平和的な構築につなげていくよう取り組んでいければ」と語っています。

玉城守一知事は、中国を訪問するにあたっては、これまでにさまざまな基準を設けていた」と述べています。それについて、地域の緊密化や信頼構築の構築に貢献していきたい。それが沖縄県としての役割であり、アジアの平和的な構築につなげていくよう取り組んでいければ」と語っています。

玉城守一知事は、中国を訪問するにあたっては、これまでにさまざまな基準を設けていた」と述べています。それについて、地域の緊密化や信頼構築の構築に貢献していきたい。それが沖縄県としての役割であり、アジアの平和的な構築につなげていくよう取り組んでいければ」と語っています。